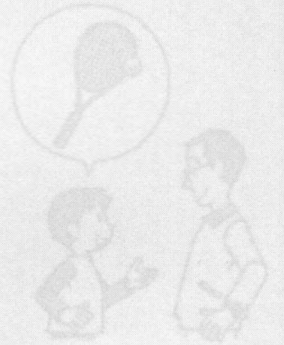
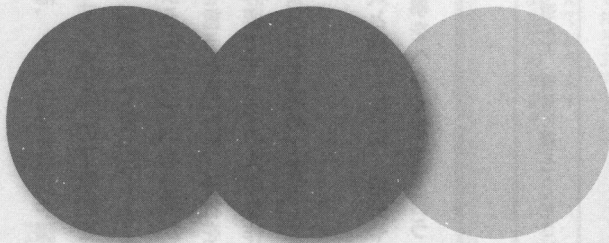


一 二 三 四 五 平成21年度 第1回

日本語検定

解答と解説

5級



- 一 …… ②
 二 …… ③
 三 …… ①
 四 …… ①
 五 …… ②

◆小学生や中学生であれば、ふだんは尊敬語や謙讓語を使う必要はそれほどなく、「です・ます」の丁寧語を使っていれば失礼にはなりません。改まって言おうとする場合には、ある程度の敬語が使えるようになっていなければならない。目上の人に関することを言うときには、それを高めて言う言葉づかいをすることが必要です。その人の動作やその人に関係するいろいろな事などを高めて言うときの言葉を、《尊敬語》といいます。

それに対して、目上の人と話すときに、自分や自分の身内がする動作や関係する物事をへりくだって言うときの言葉

問1

これは敬語の問題です。一

【のようなときの言い方として最も適切なものを選んで、番号で答えてください。

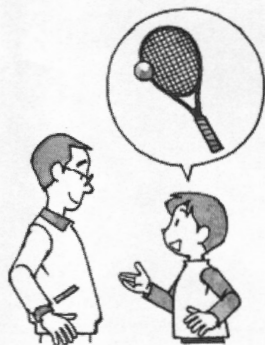
五級 ● 2

一 「となりのクラスの先生から、自分の担任の先生がどこにいるか聞かれて」

- ① 山野先生は、さっき急用ができて出かけました。
 ② 山野先生は、さっき急用ができて出かけられました。
 ③ 山野先生は、さっき急用ができてお出かけしました。

二 「近所のおじさんが、テニスをしているのを知って」

- ① おじさんは、テニスをしているのですね。
 ② おじさんは、テニスをやっているのですね。
 ③ おじさんは、テニスをなさっているのですね。



を、《謙讓語》といいます。

場合によっては、一つの発言の中で両方を使わなければならないこともあります。

一 担任の山野先生が「出かけた」ことを尊敬語を使って言うのが適切です。そうなっているのは、尊敬を表す「られる」を用いて「出かけられました」と言っている②です。①は敬語が使われていません。③の「お出かけしました」は、「おくする」という形の謙讓語で、目上の人が出かけたことを言うときに使うのは不適切です。

二 目上の人である近所のおじさんが「テニスをしている」ことを、尊敬語で言うのが適切です。①の「テニスをしている」は、敬語が使われていません。②の「テニスをやっている」の「やっている」も、敬語が使われていません。「する」の尊敬語である「なさる」を使って、「テニスをなさっている」と言っている、③が適切です。

三 だれかのために何かをするというときに使う、「～てやる」「～てあげる」という言い方がありますが、「～てやる」は、自分より目下の人の場合に、また、「～てあげる」は、自分と同じくらいの立場の人の場合に使うのがふつうです。おばあさんは目上の人ですから、②と③は不適切です。「～てやる」や「～てあげる」を使わないで、①のように、「お持ちしましょうか」と言うのが適切です。

三 「おばあさんが、両手に重そうな荷物を持って歩いていたので」

- ① ぼくが、半分お持ちしましょうか。
- ② ぼくが、半分持ってやりましょうか。
- ③ ぼくが、半分持ってあげましょうか。

四 【学級会で、クラスの全員に放送委員会の仕事を説明することになって】

- ① これから、放送委員会の仕事についてご説明します。
- ② これから、放送委員会の仕事について説明してあげます。
- ③ これから、放送委員会の仕事についてご説明になります。

五 【母親の友達からの電話で、明日三時ごろ家を訪ねるといって、母親への伝言をたのまれて】

- ① お母さんがもどりましたら、おばあさんが三時ごろに来ると伝えておきます。
- ② 母がもどりましたら、おばあさんが三時ごろにいらつしやると伝えておきます。
- ③ 母がもどられましたら、おばあさんが三時ごろにいらつしやると伝えておきます。

3 ● 五級

四 目上の人と話すときのほか、発表するときなど、たくさん人の前で話すときにも、丁寧な言葉づかいをする必要があります。自分が「説明する」ことを、謙譲語で言うのが適切な場面です。②の「説明してあげます」の「あげるといって使うのは不適切です。また、③の「ご説明になります」の「ごくになる」という言い方は尊敬語の形で、自分のすることを敬つて言っていることになります。①の「ご説明します」が、「ごくする」という形の謙譲語になっていて適切です。

五 「来る」のは母親の友達で、目上の人ですから、それを尊敬語で言うのが適切です。①の「来る」は敬語が使われていません。②や③のように、「来る」の尊敬語「いらつしやる」を使って言うのが適切です。さらに①は、自分の母親のことを「お母さん」と言っているのも不適切です。また、③は、「母がもどられましたら」と、自分の母親のすることを尊敬語を使って言っているのが不適切です。以上のことから、②が適切です。

◆ ◆

- 一 … ②
- 二 … ①
- 三 … ③
- 四 … ②
- 五 … ③

◆敬語には、一つの言葉で多くの意味をもっているものがあります。「いらつしやる」もそれに当たる言葉で、「行く・来る」という反対の意味をもとに表し、また、「いる」という意味を表すこともあります。

一 「校庭にいらつしやる」だけみると、どの意味にも取れそうですが、上に「今は」とあるので、②「いる」という意味になります。

二 「来週の金曜日に…北海道へ」ですから、「いる」や「来る」ではなく、①「行く」という意味を表しています。

三 「明日、…家庭訪問で家に」ですから、「いる」や「行く」ではなく、③「来る」という意味になります。

四 「先月から、東京に」ですから、「行く」や「来る」ではなく、②「いる」が当てはまります。

五 花火大会の様子が見えると言っていますが、そのために、おばさんがわたしの家に「来て」、それから家のベランダで見ようと言っているわけです。③「来る」が当てはまります。

問2

一～五の文に使われている「いらつしやる」「こ」が付いている形のものもあります。一つについて、表している意味から選んで、番号で答えてください。一つの言葉を何回使ってもかまいません。

五級 ● 4

一 竹田先生は、今は、校庭にいらつしやると思います。

二 来週の金曜日に、おばさんは北海道へ旅行にいらつしやるそうです。

三 明日、担任の先生が、家庭訪問で家にいらつしやる。

四 村田さんのお姉さんは、先月から、東京にいらつしやるそうだ。

五 うちのベランダから、花火大会の様子がよく見えるので、おばさんも明日わたしの家にいらつしやって、いっしょに見ませんか。

- ① 行く
- ② いる
- ③ 来る

▼ 下一段活用動詞…活用させたとき、工段の音が共通している。

(例) 重ねる…: 重ね(ない) 重ね(ます)・重ねる・重ねる(とき)・重ね(ば)・重ねる「↓可能のときは「重ねられる」になる。

力行変格活用動詞…: くる(来る)「一語だけ。」こ(ない)・き(ます)・くる・くる(とき)・くれ(ば)・こい「↓可能

「らぬき言葉」という言い方を聞いたことがありますか。「この服はもう着られない」を「この服はもう着れない」のように、必要なところに「ら」を入れないで言ってしまうことです。

一〜五の①と②の——部分は、どちらが適切な言い方ででしょうか。番号で答えてください。

- 一 ① その本は、明日持ってこれるから貸してあげるよ。
② その本は、明日持ってこられるから貸してあげるよ。
- 二 ① ぼくの弟は、一人て階段を下りれるようになりました。
② ぼくの弟は、一人て階段を下りられるようになりました。
- 三 ① カメレオンは、体の色を変えられるめずらしい動物だ。
② カメレオンは、体の色を変えられるめずらしい動物だ。
- 四 ① なみだが止まらなくて、これ以上タマネギを刻めない。
② なみだが止まらなくて、これ以上タマネギを刻めない。
- 五 ① 家事ができないと、なかなか一人では暮らせられないよ。
② 家事ができないと、なかなか一人では暮らせられないよ。



5 ● 五級

問3 ● 解答

- 一 …… ②
- 二 …… ②
- 三 …… ①
- 四 …… ②
- 五 …… ②

解説

◆ 「らぬき言葉」かどうかを考えるには、その動詞が、上二段活用動詞・下二段活用動詞・力行変格活用動詞かどうかを確かめると分かります。この三種類の動詞であれば、可能の意味を表すときには、「られる」を付けて言つのが適切です。動詞にはそのほかに、五段活用動詞とサ行変格活用動詞があります。次の説明を参考にしてください。

上二段活用動詞…活用させたとき、イ段の音が共通している。
(例) 見る…「見(ない)・見(ます)・見る・見る(とき)・見れ(ば)・見る」↓可能のときは「見られる」になる。

のときは「られる」になる。

五段活用動詞…活用させたとき、五十音図の一行にわたった音が出てくる。

(例) 書く…「書(かない)・書き(ます)・書く・書く(とき)・書け(ば)・書け・書(こう)」↓可能のときは、ふつう「書ける」という形の動詞(「可能動詞」という)を使う。

サ行変格活用動詞…「する」と「する」の形になる動詞。「さ(せる)・れる」／「し(ない)／せ(ず)・し(ます)・する・する(とき)・すれ(ば)・しる」↓可能のときは「できる」という別の言葉を使う。

一 「持つてくる」は、力行変格活用動詞の「くる(来る)」が、「くるくる」という形(補助動詞といいます)で用いられているので、「られる」を使います。②が適切で、①は「らぬき言葉」です。

二 「下りる」は、活用させたときに「り」というイ段の音が共通する上二段活用動詞なので、「られる」を使います。②が適切で、①は「らぬき言葉」です。

三 「変える」は、活用させたときに「え」というエ段の音が共通する下二段活用動詞なので、「られる」を使います。①が適切で、②は「らぬき言葉」です。

四 「刻む」は、活用させたときに「ま・み・む・め・も」の音が出てくる五段活用動詞なので、「刻める」という可能動詞を使います。②が適切で、①は、可能動詞「刻める」に、さらに「れる」を重ねてしまっています。

五 「暮らす」は、活用させたときに「さ・し・す・せ・そ」の音が出てくる五段活用動詞なので、「暮らせる」という可能動詞を使います。②が適切で、①は、可能動詞「暮らせる」に、さらに「られる」を重ねてしまっています。

- 一 …… ②
 二 …… ③
 三 …… ②
 四 …… ①
 五 …… ③
 六 …… ③

◆文章の流れやつながりをとらえるうえで重要な《指示語》と《接続詞》をあつかった問題です。

一～三は《指示語》といって、主に、前に述べた事गरらを指して、後の文の中で使われる言葉です。「この」「それ」「あんな」「どちら」など、言葉の初めに「こ・そ・あ・ど」が付くので、「こそあど(言葉)」ともいいます。指示語が指しているものをまちがえると、文章の意味がとらえられなくなってしまうです。使う側になったときには、何を指しているのかはつきり意識して使わなければなりません。

四～六は《接続詞》といって、前の文と後の文をつなぐ働

問4

一～三の——の言葉が指しているのはどの事がらでしょうか。また、四～六の()にはどの言葉を入れるのが最も適切でしょうか。番号で答えてください。

五級 ● 6

一 わたしはその日、祖母にたのまれて、おせんべいを買いにスーパーマーケットに行った。それは、祖母が大好きなおかしだった。

- 〔①祖母にたのまれたこと ②おせんべい ③スーパーマーケット〕

二 わたしは、スーパーマーケットから急に飛び出してきた男の人とぶつかって転び、ひざをすりむいた。それを見ていたスーパーの店員が、わたしを引き起こし、手当てをしてくれた。

- 〔①男の人が急に飛び出てきたこと ②わたしがひざをすりむいたこと ③(前の文全体)〕

三 「昨日も、母からまんがを読むと言われたけど、ためになるまんががだつてあるよね。」
 「そうだね、ぼくもそう思うよ。」

- 〔①まんがを読むと言われたこと ②ためになるまんががだつてあること ③(前の文全体)〕

きをする言葉で、前と後がどういう関係でつながるかを示すのに使われます。日ごろから、接続詞に気をつけて読んだり使ったりしましょう。

一 指示語が前のどういう事がらを指しているかを考えるときには、後にどのように続いていくかを確認します。ここでは、「(それは) 祖母が大好きなおかしだった」と続くので、「おかし」である、②「おせんべい」を指していることとなります。

二 「それ」は、スーパーの店員が見ていた事がらを指しています。そして見て見ていた結果、「わたしを引き起こし、手当てをしてくれた」のですから、①「男の人が急に飛び出してきたこと」だけでは不十分です。その人とぶつかってわたしが転んだこと、②「わたしがひざをすりむいたこと」もすべてふくめた、③「(前の文全体)」とするのが適切です。

三 後の人は、「そうだね、ぼくもそう思うよ」と前の人に賛成して言っているのです、その内容として、「そう」は②「ためになるまんががだつてあること」を指しています。①③は、前の人の母親が昨日言ったことをふくむので、後の人が「思う」内容にはなりません。

四 ①「だから」は、前の事がらを受けて当然と思える事がらが後に続く場合に使います。このような場合のつながりを、《順接》といいます。②「けれども」は、前の事がらからすると逆と思える事がらが後に続く場合に使

四 地球は宇宙の一部だ。()、地球にいるぼくたちは宇宙人だとも言える。

- 〔①だから ②けれども ③それとも〕

五 地球が宇宙の一部だということは、みんなが知っている。()、地球にいる自分が宇宙人であるとは、なかなか考えない。

- 〔①すると ②そのうえ ③しかし〕

六 「うちの母は、あまりまんがを読むなと言っただよ。」

「それは厳しいね。()、この前貸したまんがはおもしろかったかい。」

- 〔①そして ②しかも ③ところで〕

7●五級

う言葉で、このような場合のつなぎ方を、《逆接》とい
います。③「それとも」は、前の事がらと後の事がらを
並べて選ぶ場合に使います。地球が宇宙の一部であれば、
その地球にいる者は宇宙人であるということもできるの
で、①「だから」が適切です。逆の事がらではないので、
②「けれども」は合いません。また、前の文と後の文は、
どちらかを選ぶような関係になっていませんから、③「そ
れとも」も合いません。

五 地球が宇宙の一部だということはみんなが知ってい
て、地球にいる者も宇宙人であると言えるはずなのに、
そのようには考えないという、前の事がらと逆と思える
事がらが続いている文なので、③「しかし」が適切です。
「しかし」は、「けれども」と同じように、《逆接》に使
います。①「すると」は、前の事がらを受けて、後の事
がらが続けて起こる場合のつなぎ方、また、②「そのう
え」は、前の事がらにかかわる別の事がらを強調して付
け加える場合のつなぎ方ですので、ここではどちらも合
いません。

六 ①「そして」は、前に述べたことに引き続いて後のこ
とが起こる場合のつなぎ方です。②「しかも」は、「そ
のうえ」と同じように、前の事がらに別の事がらを強調
して付け加える場合に使います。③「ところで」は、話
題を変えるときにつなぎ方です。ここでは、母親が厳し
いということと、貸したまんがのことでちがう話題に
なっていますから、③が適切です。①②は合いません。

- 一 … ①
- 二 … ①
- 三 … ③
- 四 … ③
- 五 … ②
- 六 … ②

◆漢字熟語の関係として重要な、似た意味の言葉（「類義語」といいます）と、反対の意味の言葉（「対義語」といいます）をまとめた問題です。

- 一 「海辺」は、海のそば、海のほとりを意味する言葉で、①「海岸」が似た意味の言葉です。②「海上」は、海の上のこと、③「海底」は、海の底のことです。
- 二 「元手」は、商売などをするときに元になるお金を表すことで、仕事などをするとき初めに必要になるお金を表す、①「資金」が似た意味の言葉です。②「現金」は、手元

問5

一～三は、一【の中の言葉と似た意味の言葉を、四～六は、一【の中の言葉と反対の意味の言葉を選んで、番号で答えてください。

五級 ● 8

◎似た意味の言葉

一 【海辺】

- ① 海岸
- ② 海上
- ③ 海底

二 【元手】

- ① 資金
- ② 現金
- ③ 料金

三 【図書】

- ① 書記
- ② 文書
- ③ 書物

◎反対の意味の言葉

四 【減速】

- ① 急速
- ② 高速
- ③ 加速

五 【著名】

- ① 有名
- ② 無名
- ③ 署名

六 【損失】

- ① 利害
- ② 利益
- ③ 利子

にあるお金のこと、また、小切手や手形などではない、実際のお金のことも意味します。③「料金」は、「水道料金」のように、それを使用したり利用したりすることに對してはらうお金のことです。

三 「図書」は本のこと、③「書物」が似た意味の言葉です。①「書記」は、会議などで記録をとる役目やその人のことを意味します。②「文書」は、必要なことなどを文字で書き記したもので、似た意味の言葉には「書類」があります。

四 「減速」は速度を落とすこと、速度が落ちることなので、その反対になるのは、速度を上げること、速度が上がることである、③「加速」です。①「急速」は、物事の進み方がとても速い様子という言葉です。②「高速」は、速度が速いこと、また速い速度のこと、①「低速」が反対の意味の言葉です。

五 「著名」は、世の中に名前が知れわたっていることです。その反対になるのは、②「無名」で、名前が知られていないこと。①「有名」は、「著名」と似た意味の言葉です。③「署名」は、文書などに自分の名前を書くこと、また、書かれた名前のことです。

六 「損失」は損をすること、また、損をして失った額や量のこと、反対になるのは、もうけや得を表す、②「利益」です。①「利害」は、利益と損害（「損失」と似た意味）のこと、得をすることと損をすることという意味です。③「利子」は、貸したり預けたりしたお金に對して、決まった割合でしはらわれるお金のことで、似た意味の言葉に「利息」があります。

【一～四の】 【中の二つの言葉は、どんな関係になっているでしょうか。同じ関係になっている組み合わせを一つ選んで、番号で答えてください。どちらの言葉が前で、どちらの言葉が後になっているかということにも注意してください。】

一 【電卓——計算】

- ① ボールペン——筆記
- ② カメラ——写真
- ③ 牧場——馬

二 【作詞家——歌詞】

- ① 勉強家——勉強
- ② 自信家——自信
- ③ 小説家——小説

三 【算数——国語】

- ① 東北地方——青森県
- ② 日本語——中国語
- ③ 日本——アジア

四 【道路——県道】

- ① ボート——船
- ② 橋——つり橋
- ③ 旅行——電車

問 6 ● 解答

- 一 …… ①
- 二 …… ③
- 三 …… ②
- 四 …… ②

解説

◆言葉どうしのさまざまな関係を考える問題です。熟語について似た意味の言葉や反対の意味を考える問題は、問5で出題しています。ここでは、

- もの名前と、それを使ってすることを表す言葉
- 人の呼び名と、そう呼ばれている人が作るものを表す言葉
- 同じグループにふくまれる言葉
- もの名前と、それにふくまれるものを表す言葉をあつかっています。

一 「電卓」は、電子工学の技術を使った小型の計算機の

ことです。「電卓」を使って「計算」をするので、もの名前と、それを使ってすることを表す言葉という関係になります。これと同じなのは、①の、「ボールペン」を使って「筆記」をするという関係です。②は、「カメラ」を使ってすることは「さつえい」で、「写真」はすることを表す言葉ではありません。③「牧場」は、家畜を放し飼いにして育てる場所のことで、「馬」はそこで育てられる動物です。

二 「作詞家」は、「歌詞」を作る人のことなので、人の呼び名と、そう呼ばれている人が作るものを表す言葉という関係です。これと同じになるのは、③の、「小説家」が「小説」を作る人であるという関係です。①の「勉強家」は、熱心に「勉強」する人のこと、②「自信家」は、自分の能力などに強い「自信」をもっている人のことです。

三 「算数」と「国語」は、どちらも小学校で学ぶ教科の名前ですから、同じグループにふくまれる言葉という関係です。②の「日本語」と「中国語」が、どちらもそれぞれの国で使われている言語なので、同じ関係になります。①は、「東北地方」に「青森県」がふくまれるという関係です。③は、「日本」が「アジア」にふくまれるという関係で、①とは逆になります。

四 「道路」は、人や車が通る道をいい、「県道」は、県が管理する道で道路の一つですから、もの名前と、それにふくまれるものを表す言葉という関係になります。②が同じ関係で、「つり橋」は、両側からつななどを張り、その下に通路をつり下げて作った「橋」のことですから、「橋」に「つり橋」がふくまれています。①の「ボート」は「船」にふくまれますから、順番が逆です。③は、「電車」という交通手段を使って「旅行」をするという関係です。

- 一 …… ②
 二 …… ②
 三 …… ③
 四 …… ②

◆ 同じ漢字がふくまれている熟語の使い分けの問題です。文が言おうとしていることを考えて、それにふさわしい言葉を選ぶことが必要です。

一 写真をとるときのことだということを考えれば、②を使って「背景にする」が適切です。「背景」は、後方の景色という意味です。①「背水」は、川や海を背にするのですが、「背水の陣をしく」という慣用句としてよく用いられます。「背水の陣をしく」は、自らを一步も後ろへ引くことのできない状態にして、全力をつくすこ

とをいいます。③「背面」は、後ろ側ということで、「背面攻撃」などと使います。

二 いつしよにボランティア活動をしようと呼びかけて人を集めたということですから、②「有志」が適切です。「有志」は、あることをしようとする気持ちを同じようにもっている人をいいます。この文のように、よく「有志をつのる」という言い方で使われます。①「大志」は、心に決めた大きな望みのことで、「少年よ、大志をいだけ」は有名な言葉です。③「志望」は、自分でこうしたいと望むことです。

三 ①「上演」は、劇などを観客に見せるために演じること。②「演技」は、劇などの中で、ある役を演じること。また演じ方のことです。曲芸や体操などについても使います。③「演奏」は、楽器を使って音楽を奏でることで、す。問題文では「音楽会では」と言っているので、これが適切です。

四 「〜に〜する」という形であることに注目すると、この形で使えるのは、②「専念」です。一つのこと熱心に打ちこむことをいいます。①「専門」は、ほかのことにはかかわらないで、その事だけを担当・研究すること、また、担当・研究するその事という意味です。③「専属」は、特定の団体や会社などにだけ所属することで、「〜の専属になる」などと使います。

問7

一〜四の()に入る言葉として、最もふさわしいものはどれでしょうか。番号で答えてください。

五級 ● 10

一 この川を()にすれば、いい写真がとれそうだな。

- 〔① 背水 ② 背景 ③ 背面〕

二 先週の日曜日、()をつつて、町のごみひろいボランティアに参加した。

- 〔① 大志 ② 有志 ③ 志望〕

三 今年の音楽会では、六年二組の()が、みんなの注目を集めた。

- 〔① 上演 ② 演技 ③ 演奏〕

四 君はいろいろなことに手を出しすぎるから、しばらく一つのこと()してみなさい。

- 〔① 専門 ② 専念 ③ 専属〕

一〜四のようなことを言うとき、()に入る言い方として適切なものを [] から一つ選んで、番号で答えてください。一つの言葉は一回しか使えないこととします。

- 一 今日まで全く勉強していないので、明日のテストのことを考えると頭が()。
- 二 人のいやがることでも進んで引き受ける村田さんの姿勢には、頭が()。
- 三 同じことを言い合っていても問題は解決しない。おたがいに頭を() () 必要があると思う。
- 四 悪いのは君なのだから、すなおに頭を() () べきだ。

- ① 下がる
- ② 下げる
- ③ かかえる
- ④ 痛い
- ⑤ 切りかえる

11 ● 五級

問 8 ● 解答

- 一 …… ④
- 二 …… ①
- 三 …… ⑤
- 四 …… ②

解説

◆ 「頭」をふくむいろいろな言い方を取り上げています。文が伝えようとしている意味を考えて、当てはまる言い方を選ぶ問題です。

一 ④を使った「頭が痛い」は、実際に頭痛がすることもありますが、このように、困ったり心配だったりして、苦しむ様子も表します。

二 ①を使った「頭が下がる」には、感心させられるという意味があります。

三 ⑤を使った「頭を切りかえる」は、解決を図るために、それまでの考え方をやめて別の考え方をしてみることがあります。

四 ②を使った「頭を下げる」には、謝る、降参するという意味があります。

- 一 ……①
- 二 ……①
- 三 ……②
- 四 ……①

◆使用方のうえで注意が必要な、様子や気持ちを表すさまざまな言葉を取り上げています。

一 【めきめき】…「めきめき」は、どんどん、目立ってという意味を表す言葉です。良いほうにどんどん変化してゆく、①のような使い方が適切です。②のような使い方はしません。②は「めつきり」であれば当てはまります。

二 【うっとり】…美しいもの、快いものに心をうばわれる様子をいう言葉です。①の使い方が適切です。②の場合

合、「音楽にうっとりする」ことはあっても、「うっとりした音楽」という表現はしません。

三 【しゅんと】…元気がなくなつてしよげる様子をいいますから、②が適切な使い方です。①は、姿勢が正しい様子をいう、「しゅんと」であれば当てはまります。

四 【どきまぎ】…急なことであわてたり、うろたえたりする様子をいいます。とつぜんの先生からの電話に、うろたえてしまったと言っている、①が適切です。②は、父が帰ってくることは急なことではありませんし、「どきまぎしてねむれない」とは使いません。

問9

一〜四の言葉は、一方の文では適切に使っていますが、もう一方の文では適切に使っているとはいえません。適切に使っているほうの文を選んで、番号で答えてください。

五級 ● 12

一 【めきめき】

- ① あの新人選手は、最近めきめき力をつけてきているね。
- ② このところ食欲がなく、めきめき体重が減ってしまったよ。

二 【うっとり】

- ① 姉は、最近よく、好きな音楽にうっとり聞き入っている。
- ② わたしは、どちらかといえばうっとりした音楽が好きだ。

三 【しゅんと】

- ① 運動会の行進では、背筋をしゅんとのはして歩くようにしなさい。
- ② いつも陽気な弟だが、父にしかられてしゅんとしている。

四 【ごまぎ】

- ① 担任たんじんの山口先生からとつぜん電話がかかってきたので、ごまぎしてしまった。
- ② 一か月ぶりに父が海外から帰ってくると思うと、ごまぎしてねむれなかった。



- 一 …… ⑤
- 二 …… ④
- 三 …… ①
- 四 …… ②

◆同じ「立つ」「立てる」という言葉を使っても、文によって表す意味はいろいろです。それぞれの文が言おうとしていることをよく考えて、どんな言葉がそれと同じ意味になるかを考える問題です。

一 目的地に向かって出かけるという意味の、⑤「出発する」が当てはまります。

二 先頭という位置にいますから、④「位置する」が当てはまります。

三 おきの方に白い波が現れることを言っていますから、①「出現する」が当てはまります。

四 「方針」は、ある事から行うにあたって基本となる進め方のことです。「方針を立てる」は、ただ考えるだけでなく、その進め方を決めることなので、②「決定する」が当てはまります。

問10

一～四の——部分にふくまれている「立つ」「立てる」(形はいろいろに変わっていますが)はどんな意味を表しているでしょうか。それぞれの文が言おうとしていることを考え、……から選んで、番号で答えてください。

五級 ● 14

一 おじさんは、明日、日本を立ててフランスに向かうそうだ。

二 あの選手は、スタートしたときからずっと先頭に立っている。



三 風が強まるにつれて、おきの方には白い波が立つようになった。

四 市は、ごみの量を減らす方針を立て、市民にも協力を呼びかけている。

- ① 出現する
- ② 決定する
- ③ 開始する
- ④ 位置する
- ⑤ 出発する

次のメモは、学校で、好きな本について話すことになって、その下書きをしたものです。見直してみると、漢字の使い方・送り仮名の付け方・仮名づかいの正しくないところがいくつかありました。直さなければならぬものを からすべて選んで、番号で答えてください。

みなさん、アミーチスという人の書いた『クオレ』という本を知っていますか。ぼくは、この本が大好きで、四年生のときから何回もくり返して読みました。それで、もう、表紙がいたんでいます。これが、その本です。『クオレ』には、エンリーコをはじめ、おおぜいの少年が登場します。その中でもいちばん好きなのが、スタルディ君です。

スタルディ君は、努力家です。こつこつと勉強を重ねて、ぐんぐん成績を口上させました。スタルディ君は、「やればきつとできるんだ。」と、口ぐせのように言いながら、がんばり続けました。新聞の切れはし、しばいの広告などでも熱心に読んで、力をつけたのです。こずかいをためて本を買い、自分の家に小さな図書室を作りました。

ぼくも、スタルディ君の努力を見習って、もつともつと本と仲良くしなくてはならないと思っています。スタルディ君の「やればきつとできる」という精心を忘れないようにしたいと思います。

- ① くり返えて
- ② おおぜい
- ③ 重ねて
- ④ 成績
- ⑤ 口上させ
- ⑥ 広告
- ⑦ 熱心に
- ⑧ こずかい
- ⑨ 見習らつて
- ⑩ 精心

15 ● 五級

問 11 ● 解答

- ①
- ⑤
- ⑧
- ⑨
- ⑩

解説

◆漢字の使い分け・送り仮名の付け方・仮名づかいのまちがいがふくまれています。書いた後でよく見直さないと、こうしたまちがいをそのままにしてしまうことがあります。他人の文章を見るつもりになって、注意深く見直しましょう。

- ① くり返えて…「くり返して」が正しい書き表し方です。「くりかえす」は、「くりかえさ(ない)・くりかえし(ます)・くりかえす・くりかえす(とき)・くりかえせ(ば)・くりかえそ(う)」と変化する五段活用の動詞です。送り仮名は、「さ・し・す・せ・そ」と変化

- ② おおぜい…正しい書き表し方です。漢字ならば「大勢」です。
- ③ 重ねて…正しい書き表し方です。
- ④ 成績…正しい書き表し方です。
- ⑤ 口上させ…成績を「上げる」という意味なので、「向上させ」が正しい書き表し方です。「口上」は、口で述べるあいさつなどのこと。「口上する」という形では使いません。
- ⑥ 広告…正しい書き表し方です。広く世間に知らせるための文書などのことです。
- ⑦ 熱心に…正しい書き表し方です。
- ⑧ こずかい…「こ(小)」と「つかい(遣い)」が組み合わさつて「つ」がにじるので、「こづかい」が正しい書き表し方です。
- ⑨ 見習らつて…「見習って」が正しい書き表し方です。「みならう」は、①の「くりかえす」と同じ五段活用の動詞で、「みならわ(ない)・みならい(ます)／みならつ(て)・みならう・みならう(とき)・みならえ(ば)・みならお(う)」と変化します。送り仮名は、「わい／つ・う・え・お」と変化する活用語尾から送ります。「て」に続く場合は、「みならつて」となります。
- ⑩ 精心…「精神」が正しい書き表し方です。「精神」で「心」の意味になります。



- ア … ⑥
- イ … ④
- ウ … ②
- エ … ⑦
- オ … ⑤

◆ 二字熟語をしりとりで続ける問題です。「物語」と「語句」のように、言葉によって同じ漢字でも読み方が異なるものがあります。ここに登場する熟語は次のとおりです。

(上の輪)

生物↓物語↓語句↓句点↓点火↓火事↓事故↓故人↓人生
(下の輪)

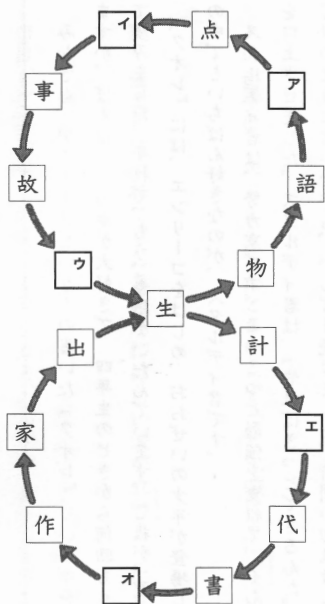
生計↓計時↓時代↓代書↓書名↓名作↓作家↓家出↓出生
アには、⑥「句」が入ります。「語句」は、一つの言葉(語)

問12

例のように□の中の漢字を矢印の方向につなぐと、それぞれ二文字の言葉ができます。

〔例〕虫 ↓ 歯 ↓ 車 「虫歯」と「歯車」という言葉ができます。

同じようにして、二文字の言葉ができるように、ア、ウ、オの□に当てはまる漢字を選んで、番号で答えてください。一つの漢字は一回しか使えないことします。



- ① 意
- ② 人
- ③ 写
- ④ 火
- ⑤ 名
- ⑥ 句
- ⑦ 時

、やひとまとまりの言葉(句)ということ。 「句点」は、文の終わりの印「。」のことです。

イには、④「火」が入ります。

ウには、②「人」が入ります。「故人」は、死んでしまった人という意味の言葉です。「生計」は、暮らしていくための方法という意味の言葉で、「生計を立てる」のように使います。

エには、⑦「時」が入ります。「計時」は、時間をはかること、また、はかった時間を表す言葉です。「代書」は、本人に代わって書類や手紙などを書くことです。

オには、⑤「名」が入ります。「書名」は、本の題名のこと、「名作」は、すぐれた作品、また有名な作品ということ。 「出生」は、人が生まれることで、「しゅつしょう」「しゅつせい」どちらの読み方もあります。



一～六の()に入る正しい漢字を選んで、番号で答えてください。

一 円の半()が分かれれば、円周や面積が計算できる。

- ① 径 ② 経

二 旅行に行くときには、カメラ用の() 備の電池も持っていくといいよ。

- ① 余 ② 予

三 新しい橋ができたので、対()の町へ行くのが便利になった。

- ① 岸 ② 岩 ③ 元

四 来月になったら海水()に行きたいと思っています。

- ① 翌 ② 欲 ③ 浴

五 意見が分かれたので、挙手で決を()ることにした。

- ① 採 ② 取

六 先生から急に()されたのであせってしまい、答えを言うことができなかつた。

- ① 差 ② 指

17 ● 五級

問 13 ● 解答

- 一 : ①
二 : ②
三 : ①
四 : ③
五 : ①
六 : ②

解説

◆ 同じ読み方のある漢字の使い分けの問題です。一～四は、音読みの熟語で、五と六は、訓読みの言葉です。それぞれの漢字の意味や使い方を、正しく理解することが大切です。

一 ①を用いて、「半径」となります。「径」は、小道やさしわたし(円の直径)などの意味を表す漢字です。半径の二倍が「直径」です。②「経」は、「経験」「経過」「東経(一度)」などのように使う漢字です。

二 ②を用いて、「予備」となります。「予(あらかじめ)

備(そなえる)」ということ、電池を使い切ってしまったのために、あらかじめ多めに持っていく分のことです。①「余」は、「あまり」「のこり」という意味の漢字で、この場合は使いません。

三 ①②③とも「ガン」という読み方のある漢字ですが、ここでは、川や海をさんだ向こう側、向こう岸にある町ということで、①「岸」を用いた、「対岸」が当てはまります。②「岩」は、いわのこと。③「元」は、「もと」「はじまり」という意味の漢字で、「ガン」と読むときの言葉に、「元旦」「元祖」などがあります。

四 海の水を浴びるということで、③「浴」を用いた「海水浴」が当てはまります。①「翌」は「翌朝」「翌月」などと使い、②「欲」は「欲望」「食欲」などと使います。

五 出された案などについて、一つを選んでとるといふことなので、①「採」を用いた「採る」が適切です。「決を採る」という意味の「採決」という熟語もあります。②「取」は、「手に取る、点を取る、メモを取る」など、広く使われる漢字です。

六 指名されたという意味なので、②を用いて、「指された」が適切です。①「差」は、「西日が差す」「水を差す」などと使います。



- 一 …… ⑦
 二 …… ⑧
 三 …… ⑥
 四 …… ①
 五 …… ⑤

◆ア・イ両方の()に当てはまる、一つの漢字を選ぶ問題です。アはその漢字の訓読み、イは音読みです。それぞれの文が言おうとしていることから、どんな言葉がそこにくるのか、その言葉はどんな漢字で書くのか、というように考えます。

……………
 一 アは、「失敗を」とありますから、⑦を用いた「責める」が当てはまります。イでは、「責任」となります。「責」は、せめる、とがめる、また、しなければならぬ務めという意味をもつ漢字です。

二 アは、病院に着いてすぐにということですから、⑧を用いて、「直ちに」が当てはまります。イに当てはめると「直行」となります。ほかの場所に寄らないで、直接目的の場所へ行くことです。

三 アは、⑥を用いた「食べ過ぎる」が当てはまります。イでは、⑩を用いた「通行して」という言葉もできますが、「通行」はおもに、人や車などが通ることに使われる言葉で、やはり⑥を用いた「通過して」が、よりふさわしい言葉です。

四 アは、スーパーのちらしに書かれている、品物の「値段」を見比べているということで、①が考えられます。イに当てはめると、「価値がある」となり、これが適切だと分かります。

五 アは、「〜が引いて」とありますから、⑤の「潮」が当てはまります。⑨も「塩」ですが、「潮」は、海の水のこと、また海の水が満ちたり引いたりすることをいう言葉です。イに⑤を当てはめると「風潮」となります。その時代の多くの人々の考え方、世の中の傾向という意味の言葉です。

問14

一〜五それぞれのア・イの()には、同じ漢字が入ります。 から選んで、番号で答えてください。

五級 ● 18

一 ア 人の失敗をそんなに()めてはいけない。
 イ ぼくは、学級委員としての()任を果たしたい。

二 ア けが人は救急車で病院に運ばれ、()ちに手術を受けた。
 イ 時間がなかったので、家には帰らないで、約束の場所へ()行した。

三 ア 暑いからといって、冷たいものを食べ()ぎると、体に良くないよ。
 イ 駅のホームにいたわたしの前を、特急列車が通()していった。

四 ア 母はこのごろよく、スーパーのちらしを何枚も並べて（ ）段を見比べている。

イ この土器は、歴史的にたいへん価（ ）があるものだ。

五 ア あと一時間もすれば（ ）が引いて、あそこの岩まで歩いていけるそうだ。

イ 最近、日本には物を大切にしない風（ ）がある。

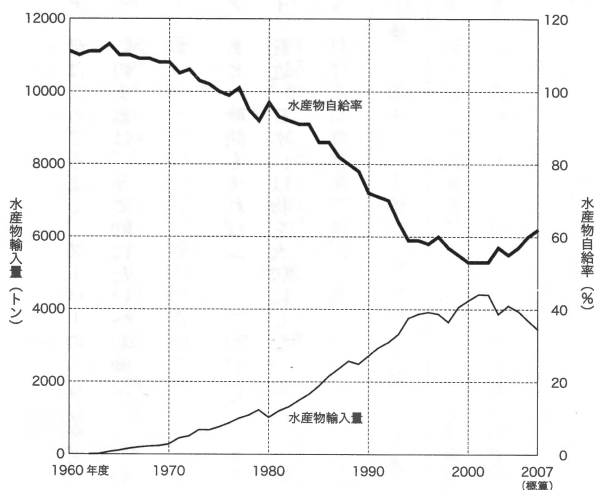
- ① 値
- ② 決
- ③ 格
- ④ 向
- ⑤ 潮
- ⑥ 過
- ⑦ 貴
- ⑧ 直
- ⑨ 塩
- ⑩ 行



19 ● 五級

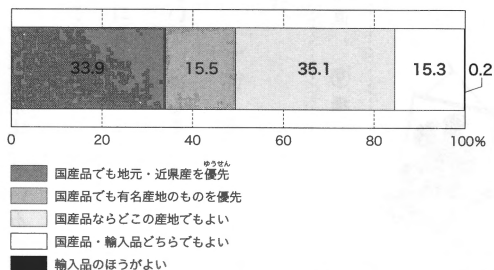
- 一 … ③
- 二 … ①
- 三 … ③
- 四 … ③

〈図表1〉水産物自給率と輸入量の移り変わり



資料：農林水産省ホームページ「食料自給率の部」による。

〈図表2〉魚を買うとき、どこの産地のものを買おうとするか



資料：農林漁業会議公庫「2007年度消費者動向調査」による。

問15

左ページの文章は、次の二つの図表を見て、大下さんが書いたものです。後の質問に番号で答えてください。

五級 ● 20

◆ 図表から読み取れることを記した文章を題材とした問題です。それぞれの問いは、図表から読み取れることを、どう表現するのが適切であるかを問うています。文章が、図表のどこに着目し、そこから何を言おうとしているのかを理解したうえで、正答を考えることとなります。

一 〈図表1〉を見ると、一九六〇年度から二〇〇〇年辺りまでは、水産物自給率は年とともに減っていき、逆に水産物輸入量は増えていっていることが分かります。ここでは、一方が減るにつれてもう一方が同じような割合

で増えていくことをいう「反比例」という言葉を使った、③「反比例するように増え続け」が適切です。①②の「正比例」は、二つの数量が関係し合って同じような割合で増える、あるいは減ることをいいます。

二 それまでずっと下がり続け、一九九〇年代の後半には六〇パーセントを切っていた水産物自給率が、二〇〇〇年代の半ばから上向きになり、二〇〇七年には六〇パーセント以上になっています。二〇〇七年のこの状態を表す言い方として、①「回復(している)」が適切です。「回復」は、物事が元の良い状態にもどることをいい、「天候が回復する」「健康を回復する」などと使います。②「減少」は減ることですが、ここでは増えているので当てはまりません。③「安定」は、ある状態で落ち着いていて急な変化がないことをいいますから、当てはまりません。

三 「水産物自給率は上向きになり…」と言った後で、「反対に、水産物輸入量は…」と言っているのですから、①「上向きになり」は当てはまらず、③「下向きになり」が適切であることが分かります。〈図表1〉を見ると、そのことが確認できます。

四 〈図表2〉を見ると、「地元・近県産を優先」「有名産地のものを優先」「国産品ならどこの産地でもよい」の三つの合計が「八〇パーセントをこえてい」て、それが「国内産(国産品)を求める人」の割合であるということが分かります。この三つのうち、一番目と二番目にあ

日本国内で消費する水産物のうち、国産の水産物がしめる割合が「水産物自給率」で、その移り変わりが(図表1)の上の線で表されている。また、外国から輸入している水産物の量が「水産物輸入量」で、その移り変わりが下の線で表されている。

上の線を見ると、水産物自給率は1970年代の前半までは100パーセント以上だったことが分かる。しかし、その割合はしだいに下がり、1990年代の後半には60パーセントを切るまでになっている。

一方、水産物輸入量は、水産物自給率と(ア)、2000年の辺りで40パーセントを上回っている。

ところが、2000年代の半ばを過ぎると、水産物自給率は上向きになり、2007年には60パーセント以上に(イ)している。そして反対に、水産物輸入量は(ウ)、再び40パーセント以下にもどっている。

この変化の理由を表しているのが、(図表2)の「魚を買うとき、どこの産地のものを買おうとするか」ではないかと思う。この図表を見ると、産地を問題にするかしないかの(エ)、国内産を求める人が80パーセントをこえていることになる。

食べ物に関するいろいろな事件が起こり、日本人が安全な食べ物を求めるようになってきているのだと思う。

一 アに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 正比例するように減り続け
- ② 正比例するように増え続け
- ③ 反比例するように増え続け

二 イに入る言葉として適切なものはどれでしょうか。

- ① 回復
- ② 減少
- ③ 安定

三 ウに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 上向きになり
- ② 上がりも下がりもせず
- ③ 下向きになり

四 エに入る言い方として適切なものはどれでしょうか。

- ① 区別をすれば
- ② 区別を考えると
- ③ 区別を考えなければ

たる人は、産地を問題にしていますが、三番目にあたる人は、産地を問題にしていません。つまり、産地を問題にするかしないかの③「区別を考えなければ」、国内産を求める人が八〇パーセントをこえているということになり、これが適切です。①「区別をすれば」や②「区別を考えて」では、国内産を求める人の割合について言うことができなくなりますから不適切です。



- 一：②
二：②
三：③
四：①
五：②
六：③
七：②
八：②

◆総合問題です。これまでに出てきたいろいろな内容がふくまれています。

一 もうそれ以上近くは無理なところに木が生えている様子をおうとしているので、②「ぎりぎりに」が適切です。①「きつかりに」は、時間や物の数量がちやうどであることを表す言葉です。③「ぎゅうぎゅうに」は、ものをいっばい詰めこんだような様子を表す言葉です。

二 祖父がぼくのためにしてくれたことですから、②「植

えてくれたのです」が適切です。①「植えてやったのです」や、③「植えてあげたのです」では、祖父がぼくのためにしてくれたことになりません。

三 祖父が、ふだんは「仕事がいそがしくて、ほとんど家にいなかった」のに、そのときは、わざわざ「シャベルを持って土をほり、自分でそのかきの木の株を植え」てくれたということですから、③「なのに」が適切です。①「だから」や②「として」では、前後のつながりがおかしくなります。

四 後に「いっしょうけんめい数え」とあり、また、「二百個以上もなっているぞ」と言っているのですから、①「いっばい付いていたかきの実」を指していることになります。

五 「つづく(続く)」のように同じ音が重なってにぐる場合以外は、「ズ」という音は「ず」を使って書きます。「ぎず(傷)」は、そのどちらでもありませんから、「ぎず(つく)」が正しく、②「ぎずついたり」が適切です。

六 「芽も出ずに、かれてしまうのではないかと心配」したのが、そうはならなかったのですから、心配がなくなつて安心するということを表す、「胸をなでおろす」を用いた③が適切です。①の「鼻を高くする」は、得意になつている様子を表す言い方、また、②の「腹をかかえる」は、

★これまでの問題に出てきた内容をふくむ総合問題です。

問16

次の文章は、小学校六年生の松川君の作文です。この文章について、後の質問に番号で答えてください。

五級 ● 22

ぼくの家の庭には、かきの木が一本立っています。家のそば(ア)生えていて、二階のベランダから手をのばすと、枝にさわれるくらいです。

このかきの木は、祖父が、ぼくが三さいのときに植木市で買ってくれたものです。ぼくが大きくなったときに、ベランダからでもかきが取れるようにと、家のそばに(イ)。仕事がいそがしくて、ほとんど家にいなかった祖父(ウ)、そのときは、シャベルを持って土をほり、自分でそのかきの木の株を植えました。

三年生のとき、かきの木はたくさん実を付けました。赤い実がいっばい付いて枝がたれ下がり、今にも折れそうでした。祖父が木の下に立って、それをいっしょうけんめい数え、びっくりしたように、

「二百個以上もなっているぞ。」

と、顔をしわくちやにしてみました。それから一週間もしないうちに、祖父が急に亡くなりました。ぼくは、かきの実のいっばい付いた、いちばん形の良い枝をひつぎの中に入れました。

四年生の冬に、家を建て直すことになりました。その工事で、かきの木の幹がきづついたり枝が折れたりしました。このまま芽も出ずに、かれてしまうのではないかと心配になりましたが、春になると芽が出たので(カ)ました。工事のためにつらい目にあつたのに、かきの木はよくがんばつたなあと思います。

今、かきの木は、きらきらかがやく太陽の光を浴びて、葉をたくさん付けています。空に向かつて元気いっばい、大きく手を広げているように立っています。三、四か月後にはきつと、たくさん赤い実がなると思います。そうしたら、祖父のお墓に(ク)と思います。

一 アに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔①きつかりに ②ぎりぎりに ③ぎゅうぎゅうに〕

二 イに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔①植えてやったのです ②植えてくれたのです ③植えてあげたのです〕

三 ウに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔①だから ②として ③なのに〕

四 エの「それ」はどういうことを指しているでしょうか。適切なものを選んで番号で答えてください。

〔①いっぱい付いていたかきの実 ②たれ下がっていた枝 ③今にも折れそうな枝の様子〕

五 オの書き方は適切でしょうか。適切な場合は①を、適切でない場合は②・③から適切なものを選んでください。

〔①(適切である) ②きずついたり ③きつづいたり〕

六 カに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔①鼻を高くし ②腹をかかえ ③胸をなておろし〕

七 キの「今」が表す季節はいつでしょうか。適切なものを選んで番号で答えてください。

〔①春 ②夏 ③秋〕

八 クに入る言葉として最も適切なものはどれでしょうか。

〔①お礼しよう ②お供えしよう ③おわたししよう〕

23 ● 五級

おかしくて大笑いをする様子を表す言い方です。

七 「今」で始まる文に、「きらきらかがやく太陽の光を浴びて、葉をたくさん付けています」とあり、その二つ後の文に、「三、四か月後にはきつと、…実がなる」とありますから、今が②「夏」であることが分かります。

八 「かきの」実がなったら」を受けて、祖父のお墓の前に行うことから、②「お供えしよう」が、適切です。この場合の「お供えし」の「供える」は、亡くなった人や神様などに物を差し上げることをいいます。祖父のお墓の前に、①「お礼しよう」や③「おわたししよう」は当てはまりません。



